

二期目に向けて活動開始



広島県議会議員 出原 昌直

いではら まさなお

平素より皆様方には広島県政に対して温かいご支援とご理解を頂き厚くお礼申し上げます。

また、4月の二期目の選挙においては、大変多くの皆様よりご支援を頂き、次の4年も皆様と一緒に政治活動をさせて頂く機会を頂きました。今後も最も身近な県議会議員であり続け、皆様の声を真摯に受け止め福山市・広島県の更なる発展に尽くして参る所存ですので今後ともご指導よろしくお願ひします。

☆二期目に向けて皆様に訴えてきたこと

- ・民間の感覚を持ち続けた政治活動
 - ・民間の感覚を持った議会改革
 - ・政治だけで課題を解決するのではなく、民間・行政と一緒にになった課題解決に取り組む
- 引き続き、この思いを持ち、行動していきます。

【プロフィール】

昭和57年	福山市立戸手小学校卒業
昭和63年	私立英数学館中・高等学校卒業
平成5年	法政大学経済学部卒業
	伊藤忠商事株式会社入社
平成14年	株式会社ディーフィールド 代表取締役 就任
平成24年	ディスカバーリングセとうち 代表 就任
平成27年	広島県議会議員 初当選
平成28年	農林水産委員会 副委員長
平成29年	文教委員会 委員長
平成30年	総務委員会 副委員長
平成31年	広島県議会議員 当選
令和元年	広報委員会 委員長

【その他役職】

芦品軟式野球連盟 副会長
学校法人 出原学園 理事
木之庄早起きリーグ 顧問
しまなみアーキラインプロジェクト 副委員長
社会医療法人社団陽正会寺岡記念病院 評議員
社会福祉法人新市福祉会 顧問
繊維産地継承プロジェクト委員会 顧問
DioPorte CLUB 顧問
広島県アパレル工業組合 理事
広島県宅地建物取引業協会福山支部 顧問
福山ゴルフ協会新市支部 顧問
福山地区ソフトボール協会 副会長
福山リトルシニア 顧問
若鷹リーグ 顧問
和道会新市 顧問

広島県議会議員 出原昌直事務所
〒729-3101
広島県福山市新市町戸手105-2
TEL : 0847-54-1388
FAX : 0847-54-1389
MAIL : info@idehara-masanao.com
http://www.idehara-masanao.com/

日々の活動は、LINE、
facebook、ホームページで
報告しています。

皆様、是非ご覧下さい。

県政全般のご意見・御要望もお待ちしております。



LINE

facebook

ホームページ

議会活動

議会改革を実現

タブレット端末の導入

ペーパーレス化することで経費削減しました。

子供議会の実現

子供達と地域の未来を考える機会をつくります。

二期目も民間

感覚を持ち続け改革を進めていきます。

広報委員長として県民の皆様に寄り添った広報活動を進めます。



地域からの要望（道路・河川）

要望を頂いた**全ての箇所**を訪問し現地確認を行い、**早期解決**に取り組んでいます。



《要望前》



《要望後》

学校図書の充実を加速

自ら課題を見つけ解決する力を養っていく為には公立学校図書の充実に取り組む必要があります。

図書の**新規購入・書架の設置**などを**実現**しました。

次の世代を担う子供たちのために学びの変革を進めていきます。



地域活動

府中・新市・芦田の連携強化

福山北部・府中市の若手経済人と団体を設立、第一回は小野府中市長・岡崎県議・北川精機内田社長・小林衆議員と備後の**教育・産業振興・観光**について議論するなど、広域で連携して地域課題を解決する基盤をつくり活動しています。



未利用施設・空き家を再生

空き家を建築家とともにリノベーションし観光拠点とし、ノウハウを生かし地域の未利用施設を魅力ある拠点に転換していきます。民間での実績・経験をもとに、地域にとって大きな課題である未利用施設・空き家の再生に取り組みます。

失ってはいけないものを事業を通して表現し、次世代へまちを繋げていきます。



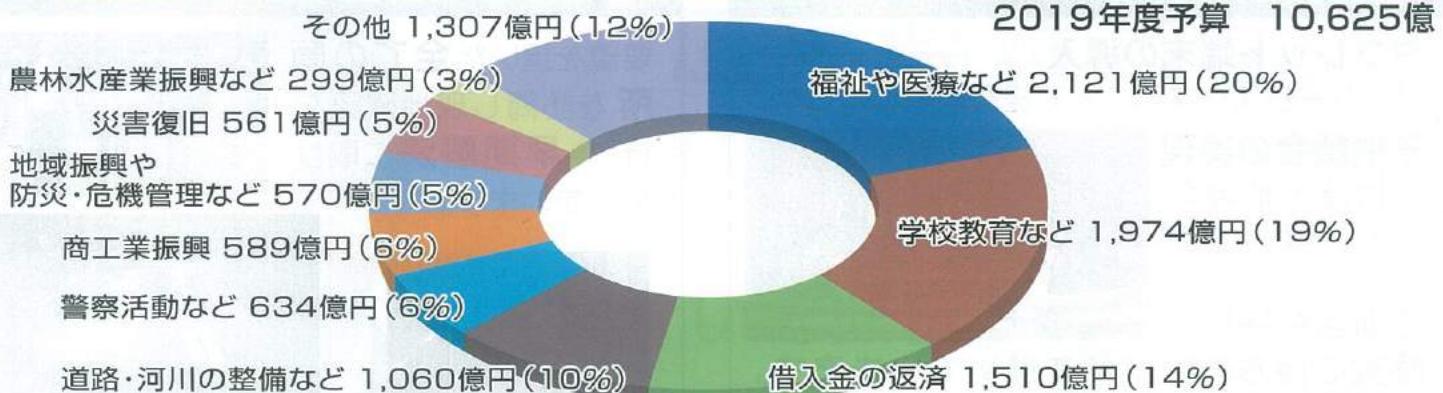
繊維産地継承プロジェクト委員会

誇りある地場産業を次世代に継いでいくため、繊維業界と一緒に人材育成拠点づくりに取り組んでおり、将来は**産業観光拠点**へと進化させる予定です。今後も様々な方を巻き込み、地域課題解決に取り組みます。

2019年福山市担い手育成支援事業に選定



創造的復興による新たな広島県づくり



✓ 当初予算額としては、県政史上初めて前年度より千億円以上の増加

安心を共に支え合う暮らしの創生

▶ 被災者の生活支援

被災された方が、一日でも早く日常の生活を取り戻せるよう、一人ひとりに寄添った包括的な支援を行います。

▶ 地域コミュニティの再生

今回の災害で重要性が再認識された地域コミュニティの再生を推進します。

未来に挑戦する産業基盤の創生

▶ 被災企業・農業の事業再建

事業活動の再建や、農林水産業における生産活動の早期再開に組みます。

▶ 観光産業の復興・拡大

災害により落ち込んだ観光需要の回復に集中的に取り組みます。

将来に向けた強靭なインフラの創生

▶ 公共土木施設等の強靱化

被災した公共土木施設等について、災害復旧事業や改良普及事業などに最優先で取り組みます。

▶ 防災・減災対策

防災・減災対策についても加速化を図り、県土の強靱化を進めます。

新たな防災対策を支える人の創生

▶ 災害から命を守るための適切な判断と避難

災害時に、県民一人ひとりが適切に判断し、避難行動をとれるよう、防災や行動科学の有識者を交えた研究を行い、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の取り組みを強化していきます。

県土の強靱化の推進

平成28年3月、広島県河川内の堆積土等除去計画を策定

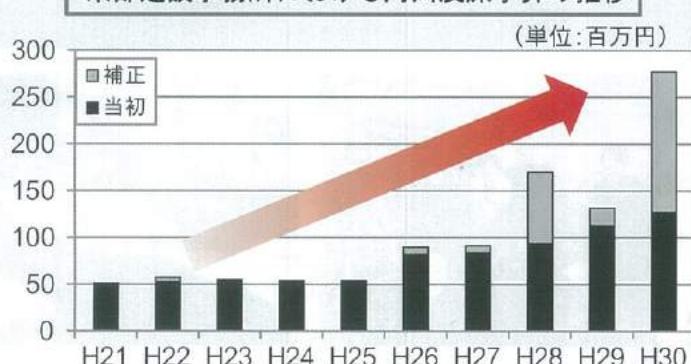
平成28からの5か年の投資規模は、**総額40億円**

平成30年度は、7月豪雨災害を受けて、全県的に大規模な補正予算を確保

東部建設事務所における河川浚渫予算は、当初と補正を合わせて、**276百万円を確保**

東部建設事務所における河川浚渫予算の推移

(単位:百万円)



～整備効果：神谷川上流～

《整備前》



《整備後》



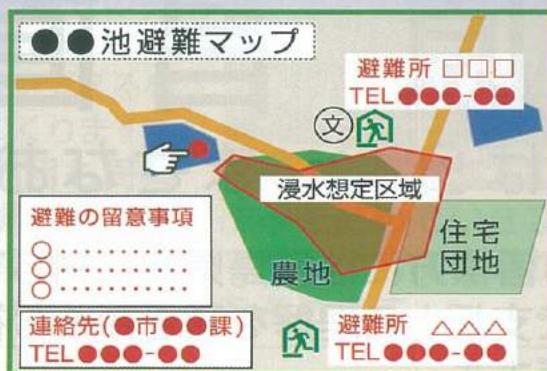
7月豪雨被害を踏まえ、ため池対策を強化

平成31年3月、「ため池の整備・廃止・管理などに関する方針」を策定

浸水想定区域図の作成やハザードマップの作成など（約9億円）

利用されなくなったため池の廃止工事を推進（約5億円）

利用するため池の補強工事や維持修繕など（約7億円）



ハザードマップのイメージ

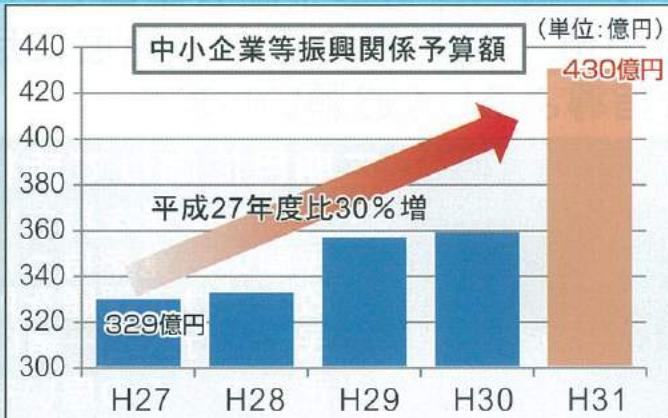


ため池の統合・廃止(廃止工事)

中小企業・小規模企業の持続的な成長への支援

平成29年10月、議員提案により「広島県中小企業・小規模企業振興条例」を制定
総額430億円を投じ、持続的なイノベーションを創り出すための基盤の強化の促進、人材の集積など、中小企業・小規模企業のニーズに応じた総合的な取り組みを推進。

平成31年度予算は、前度比20%増、
平成27年度比30%増



広域的な交流・連携基盤の強化

朝夕の慢性的な交通渋滞の解消による円滑な交通確保に向け、一般国道486号のうち、福山市新市町戸手～府中市中須町の3.4km区間の4車線化を推進

平成9年度に事業着手し、平成29年度に中須工区(1.0km)を供用開始

今年度は、**12億円余の予算を確保**し、戸手工区の工事、新市工区の用地買収を促進

国道486号(新市具中拡幅)の予算推移

